

# 「活用」につながる説明的文章の読みの指導

【行田市教育委員会】

1 学校、学年、教科 小学校、全学年、国語科

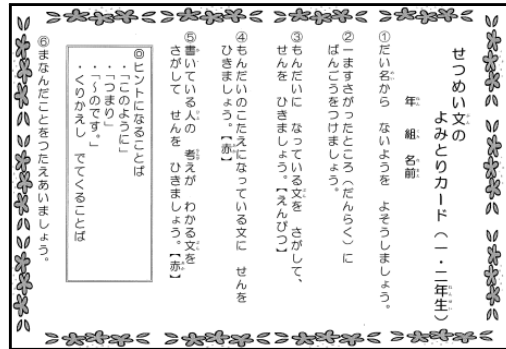
2 ねらい 国語科において、説明的文章指導に視点を当てて、読み取ったことを効果的にいかにさせる「活用の場」の設定や、それにつながる授業のあり方の工夫・改善を進めることで、筋道を立ててものごとを考えることができる児童の育成を図る。

## 3 取組内容

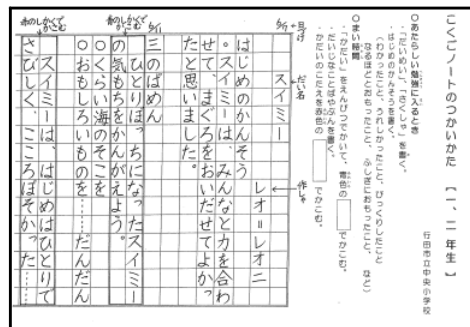
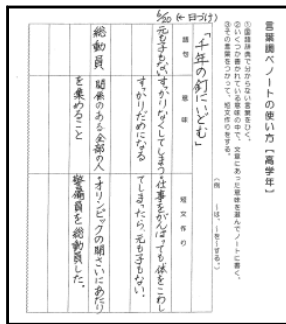
### (1) 学習指導の工夫

#### ① 読み取りカードの活用とノート指導の充実

読み取りカードやノートの使い方の手引きを作成し、学び方を子どもたちに定着させる。



学年別の読み取りカードを作成し、教科書に添付して活用



ノートの使い方を検討、統一

#### ② 「押さえる表現集」の作成と活用

学年ごとに、説明的文章の「押さえる表現」を明確にし、1単位時間ごとの学習内に計画的に取り入れる。また、「押さえる表現集」から児童の文章表現に活用させたい表現を系統的に整理して、「身につけよう、使ってみよう」をカード化し、スキルタイムで活用を図る。

学年	小1	小2	小3	小4	小5	小6
① 結果四角	「何かにめくれているよ」(1)	「何かにめくれているよ」(2)	「何かにめくれているよ」(3)	「何かにめくれているよ」(4)	「何かにめくれているよ」(5)	「何かにめくれているよ」(6)
② 比較	「何かにめくれているよ」(1)	「何かにめくれているよ」(2)	「何かにめくれているよ」(3)	「何かにめくれているよ」(4)	「何かにめくれているよ」(5)	「何かにめくれているよ」(6)
③ 順序・一般化	「何かにめくれているよ」(1)	「何かにめくれているよ」(2)	「何かにめくれているよ」(3)	「何かにめくれているよ」(4)	「何かにめくれているよ」(5)	「何かにめくれているよ」(6)
④ 例示	「何かにめくれているよ」(1)	「何かにめくれているよ」(2)	「何かにめくれているよ」(3)	「何かにめくれているよ」(4)	「何かにめくれているよ」(5)	「何かにめくれているよ」(6)



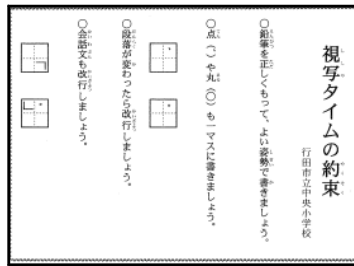
学年	表現
6年生	「何かにめくれているよ」(1)
5年生	「何かにめくれているよ」(2)
4年生	「何かにめくれているよ」(3)

読解のときに必要となる、「4つの思考力」をもとにした「押さえる表現集」を作成

さらに精選し、児童の言語生活に生かせる、「身につけよう 使ってみよう」を作成

③スキルタイム（視写等）の実施

朝のスキルタイムの時間に、視写等を計画的に実施し、筆速を高めて学習の基盤作りをする。



視写タイムの約束



学年別スキルタイムシート

(2) 言語環境の充実

①「活用の場」の設定

本単元の学習内容に関連した各教科・領域や日常生活における学びの場（0次）を設定する。また、各学年ごとに説明的文章の教材を吟味し、単元のゴールに児童が成就感を味わえるような「活用の場」を設定する。

**0次** 単元の学習に意欲的に取り組めるようにする仕込みの場



生活科の時間に



総合的な学習の時間に

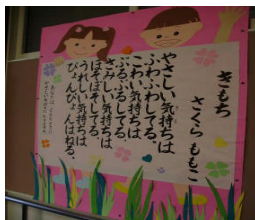


**活用** 児童が単元を通して、学んだことを教室の枠をこえたところで活かす場

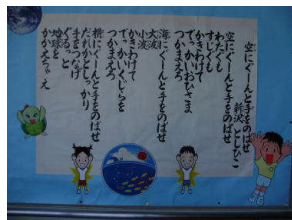


他学年に向けての発表会

②名言・名句等「言葉のシャワー」の設置



子どもたちの心を育てる詩の掲示



先生方からのおすすめの名言・名句



4 成果と課題

- ・読み取りに生かせる「押さえる表現」を日常の短作文などにも使えるようになった。
- ・学んだことを生かせる場があることにより、児童は単元のゴールに向かって、文章を正しく読み取るようになった。
- ・児童は、学年を超えて、多くの友だちや教師と言葉を通しての関わりが深まった。
- ・今後は、説明的文章の読み取りから発展させ、物語文の読み取りの指導法の工夫、改善を図っていきたい。